

## オンライン始業式 8月24日

1学期終業式に続き、2学期始業式も暑さ対策のためオンラインで実施し、各学年の代表生徒が、1学期や夏休みを振り返り、2学期に向けた目標や意欲を発表しました。

3年生は、友人のアドバイスをもとに学習習慣を見直し、受験勉強に励んだこと、2年生は、中体連全道大会で仲間のサポートを頑張り、そして自分自身も中体連全道出場を逃した悔しさをバネに新人大会で全道出場を決めたことを発表しました。1年生からは、「学年や学級をよりよくしていきたい」「自分自身も、他の人との関わりをもっとよくしていきたい」という思いが語られました。

三人の発表を聞いてうれしく感じたのは、それぞれがこれまでの経験を振り返り、そこから学んだことを「これからの自分」につなげようとしていたことです。

先週金曜日には、文化祭に向けた部門分けも行われ、それぞれが自分の挑戦したいことを選びました。2学期は、文化祭をはじめ、仲間と力を合わせて取り組む活動がたくさんあります。「やってみたい」という気持ちを大切に、一人一人が新たなことに挑戦してほしいと思います。

2学期の終わりに、「挑戦してよかった」と思える、そんな学期になることを願っています。



## まちづくり取材会 ～余市町の未来を考える～ 8月27日

8月27日(木)、3年生が総合的な学習の時間(東中コンサル)の取組として「まちづくり取材会」を行いました。

今回の学習では、余市町の現状や課題、まちづくりに関する取組について理解を深め、よりよい余市町の未来に向けた提案を考えるため、町役場の方々から直接お話を伺いました。

当日は、商工観光課、政策推進課、子育て・健康推進課、農林水産課、教育委員会の皆様に御来校いただきました。生徒たちは、商店街や観光、人口減少や公共交通、農業・水産業、子育て、学校教育など、それぞれの課が担当する分野について、事前に考えた質問をもとにインタビューを行いました。

「商店街をどのような場所にしたいのか」「観光客をもっと呼び込むためには何が必要なのか」「少子高齢化にどのように向き合っているのか」「余市の食の魅力をどのように発信していくのか」など、生徒からは、余市町の現在だけでなく、これからの町の姿を見据えた質問が数多く出されました。

担当の方々からは、現在行っている取組だけでなく、町が抱えている課題や、まちづくりを進める上での難しさについてもお話いただきました。普段何気なく過ごしている自分たちの町について、行政の立場から話を聞くことで、新たな発見や気づきがあったようです。

今回のインタビューで得た情報をもとに、これから生徒たちは「自分たちなら、余市町をどんな町にしたいか」を考え、よりよい未来に向けた提案をまとめていきます。

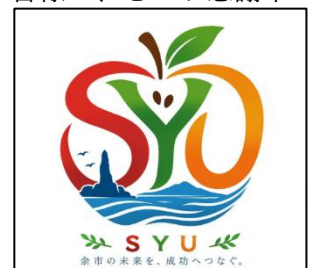
「誰かがつくる町」ではなく、「自分たちも町をつくる一員」。今回の学びを通して、ふるさと余市町の未来を自分事として考え、地域のために自分たちにできることを考えるきっかけとなることを期待しています。

最後になりましたが、ご多用の中、貴重なお話を聞かせていただいた余市町役場の皆様に、心より感謝申し上げます。

総合的な学習の時間では、空想企業『東中ホールディングス』を設立し、余市に関わるさまざまな課題について探究的に学習します。3年生はコンサルティング会社「東中コンサル」。どうすれば余市町をよりよい町にできるのか？具体的な企画を提案し、余市の未来を創造しています。右図は3年生各クラスの会社のロゴです。会社名やロゴは子どもたちが考えました。1・2年生のものにつきましては、順次学校だよりでご紹介いたします。



3年A組会社名 「YES」  
Voichi East Subsidiary  
余市町を訪れた人が「余市町が好きになったか」と聞かれたときにYESと言ってくれるように



3年B組会社名 「SYU」  
Succes Yoichi Update  
余市の未来を「成功」へ導き、「更新」し続ける会社！